

豊かな心をもち、自ら学び共に考え、たくましく生きる子どもの育成

【教育課題】

- 他者の考えを尊重して関わり、自分の考えを伝える子供の育成
- 基礎的・基本的な知識や技能を習得する子供の育成
- 目標に向けて粘り強く取り組み、活動への自信や意欲を高める子供の育成

【本年度の重点目標】

自分の考えつくり、生かし合う子どもの育成

【経営の重点】

子どもが主体となり学びを創り出していく教育活動

【経営課題】

- 子どもの思いを尊重し、安心して過ごせる学級経営力の向上
- 「子供主体」の授業づくり・授業力の向上
- 生徒指導の4つの機能を生かした自己指導力の育成

【評価に関する基本方針】

学校の教育目標の達成状況を教育活動全般について客観的に診断し、結果に基づいて改善策を工夫し、本校教育の一層の充実を図る。

- 校長のリーダーシップのもと、年間を通して計画的・組織的・継続的に学校評価を進める。
- 育成部長を中心に、全職員が組織的・協力的に行う。
- 評価の内容については、効率化を図りながら本年度の重点目標に沿った内容に焦点化する。
- 本校職員による評価だけでなく、児童、保護者など幅広い評価を求め次への改善策を工夫する。

学校自己評価

A: 学び方育成	○学力向上 ○基盤学力	・学習で「主体的に学び合う」児童を 75%以上 にする。 ・(C層D層の割合の減少を目的として) 国語科・算数科の市販テスト(技能)の学級平均を 85%以上 にする。
B: 生活力育成	○仲間づくり	・相手の考えや気持ちを理解しながら、よりよい関係を築く子どもを 80%以上 にする。
C: 連携推進	○健康な生活づくり ○小中連携 ○保護者・地域との連携	「毎朝同じ時間に起きる」「朝ご飯(必ず摂取)」を守る子ども 85%以上 にする。 「できるようにするために、友達と声をかけ合って運動に取り組む」子どもの割合を 80%以上 にする。 ・「わかったことがふえた」「できたことがふえた」と回答する児童を 80%以上 にする。 ・教育活動や教育方針について理解している保護者を 80%以上 にする
D: 信頼される学校づくり	○重点目標の達成推進 ○いじめ対応・不登校対策	・共通実践実施率を 85%以上 にする。 ・いじめ見逃し0・未解決0、不登校0を目指す。

学校関係者評価

4 月	9 月	2 月
PTA 総会・学級懇談会等において児童の実態と本年度の経営方針について説明	前期の評価内容と改善策について説明 →提言を後期の取組へ生かす	後期の評価内容と改善策について説明 →提言を次年度の取組へ生かす

学校関係者年間評価

	校長・教頭	教職員	2 育成部会	学校自己評価	学校関係者評価
3 ／／／	・学校経営方針			P	
4	・学校経営方針 教育指導計画修正		□第1回二育成部会 ※ 評価計画確認 ・成果指標・取組指標 ・対象、担当、時期		教育活動観察
5	・面談による指導助言	・学級経営案①作成 ・自己目標設定		前期 D	
6			□第2回二育成部会 ※ 4・5月の取組の評価・改善		
7		・学級経営案①評価改善 ・学級経営案②作成	□評価資料収集 □第3回二育成部会 ※ 前期取組の評価 ※ 後期評価項目(方策)の見直し	前期 C	
8			□第4回二育成部会(ショート) ※ 共通実践について確認	A	
9	・中間面談による指導助言			P	学習参観 前期学校関係者評価委員会
10					
11		・学級経営案②評価改善 ・学級経営案③作成	□第5回二育成部会 ※ 9・10月の取組の評価・改善	後期 D	
12					
1	・最終面談による指導助言		□評価資料収集 □第6回二育成部会 ※ 後期取組の評価 ※ 今後の方針について	後期 C	学習参観
2		・学級経営案③評価 ・次年度への引き継ぎ事項		A	
3	・次年度改善計画		□第7回二育成部会 ※ 本年度の評価・次年度への改善点	R V	後期学校関係者評価委員会 【公表】 次年度の計画

<評価の公表>

○保護者
・PTA 総会
・学校だより(毎月15日)
・学校行事
・学習参観(年間3回)
・学級懇談会
・各種便り
・ホームページ
等

○評議員・評価委員
・学校評議委員会
・学校関係者評価委員会(前期・後期)
・学校行事
等

○地域
・学校だより(毎月1日)
・ホームページ
・学校行事
等